

開発途上地域で環境NGO活動をめざす人のための  
「海外派遣研修 タイ・バングラデシュ活動体験コース」参加者募集

アジアの環境NGO活動に参加して「やりたいこと・できること」を見つけよう



研修地：タイ～バングラデシュ  
2009年8月27日～9月19日  
総合コース24日間／集約コース13日間  
募集：8人  
参加費：5万円（現地食費は別途自己負担）

主催：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 協力：ラムサールセンター

開発途上地域の環境は改善されていません。底流には貧困、環境認識の遅れ、資金・人材不足などがあり、一国だけでは容易に解決できません。国際社会、NGO、市民などの協力、支援が欠かせず、日本の役割は重要になっています。

このため、地球環境基金では、開発途上地域での環境保全活動に関心をもつ人たちに海外でNGO活動に参加してもらい、わが国の環境NGOによる国際協力に関する人材育成をめざす、「海外派遣研修・活動体験コース」を別記要項で開催します。

今年度は、タイ、バングラデシュの2国で、「アジアの環境問題の現状／マングローブ林再生／自然資源の持続可能な利用／生物多様性保全／気候変動災害適応／住民参加／環境教育」をキーワードに、実践的な研修プログラムで実施します。

「海外派遣研修・活動体験コース」募集要項

■日 時：2009年8月27日（木）～9月19日（土）24日間

■コース：総合コース 8月27日～9月19日 24日間  
集約コース 8月27日～9月8日 13日間  
\* 社会人向けの集約コースはタイのみ。

■研修地：日程詳細は裏面参照

- 8/27～29 バンコク・マヒドン大学で「アジアの環境問題・環境教育・国際協力」セミナー研修。
- 30～2 タイ南部・スラタニでNGOの「エビ養殖場跡地の環境再生／持続可能な資源管理／住民参加エコツーリズム開発」プロジェクトをホームステイして活動体験研修。
- 9/3～5 タイ南部・クラビでNGOの「河口干潟マングローブ林の再生／水鳥フライウェイの重要湿地国際協力／子ども環境教育実践」プロジェクトに参加、活動体験研修。
- 6～7 バンコク滞在。集約コースは帰国。
- 8～10 ダッカで、「バングラデシュの環境問題／NGO活動の実際／国際協力」セミナー研修。
- 11～15 バングラデシュ南部・コックスバザールでNGOの「気候変動災害リスクマネジメント／環境再生／貧困軽減／環境教育」プロジェクトを現地ステイして活動体験研修。
- 16～19 ダッカ滞在后、帰国。

■対象者：環境保全活動にある程度の経験を有し、開発途上地域での活動に関心をもつ、18歳以上の健康な男女。簡単な日常英語を理解できることが望ましい。

■募集：8人（集約コースを含む）

■参加費：5万円（現地での食費は別途自己負担）

■応募：環境再生保全機構地球環境基金のホームページ

[http://www.erca.go.jp/jfge/training/oversea\\_index.html](http://www.erca.go.jp/jfge/training/oversea_index.html)

から申込書類「申込書、履歴書、小論文」をダウンロードして、郵送で応募してください。

■締切：平成21年7月8日（水） \*当日必着

■審査：申込書類をもとに趣旨に照らして審査、決定します。

■決定：7月15日ごろまでに応募者へ通知。

■事前研修と報告会：事前研修（7月26日）と報告会（11月下旬）への参加が必要です。

\*その他詳細は、地球環境基金ホームページをご覧ください。

郵送先・問合先

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー 8階  
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 地球環境基金課  
電話：044-520-9505 FAX：044-520-2190  
E-mail：c-kikin@erca.go.jp ホームページ：http://www.erca.go.jp/jfge  
担当：長倉恵美子（ながくらえみこ）／合谷真弓（ごうやまゆみ）





## 海外派遣研修 日程表

日時	プログラム	滞在
8月27日	東京（成田）～バンコク	
28日	国際セミナー「アジアの環境問題と国際協力」に参加、研修	バンコク・マヒドン大学ゲストハウス泊
29日	国際セミナー「アジアの環境教育の実際と国際協力の重要性」に参加、研修	
30日	午前：バンコク～スラタニ 午後：セミナー「生命の源：タイ湾の価値」に参加、研修	スラタニ・ホテル泊
31日	午前：現地行政機関訪問、研修 午後：バンドン湾マングローブ林、エビ養殖跡地等視察	スラタニ・現地ホームステイ
9月1日	午前：マングローブ植林活動を体験研修 午後：地元住民（漁民）とのワークショップに参加、研修	
2日	午前：「沿岸管理への住民参加」プロジェクトを体験研修 午後：マングローブ林再生プロジェクトの視察、研修	
3日	スラタニ～クラビ（バス）	クラビ・ホテル泊
4日	午前：クラビ河口干潟再生プロジェクト視察、研修 午後：セミナー「水鳥フライウェイ重要湿地」に参加、研修	
5日	午前：アマルトパニチュヌクル中学校の環境教育プログラムに参加、研修	
6日	クラビ～バンコク	バンコク・ホテル泊
7日	午前：タイ研修のまとめ 午後：集約コースは帰国へ	
8日	バンコク～ダッカ	ダッカ・ホテル泊
9日	国際セミナー「Bangladeshの環境とNGO Bangladeshの活動」に参加、研修	
10日	午前：セミナー「Bangladesh NGO 会議」に参加、研修 午後：ダッカ市内の都市環境問題の視察、研修	
11日	ダッカ～コックスバザール（バス）	コックスバザール・ホテル泊
12日	BDP「気候変動災害リスクマネジメント」プロジェクトサイトのモヘシュカリ島ドルガダ村現地視察、研修	
13日	午前：コックスバザール～モヘシュカリ島ドルガダ村 午後：地元住民（漁民）とのワークショップに参加、研修	モヘシュカリ島・現地滞在
14日	「気候変動災害リスクマネジメント」活動を体験研修（沿岸低地帯の自然環境復元再生／マングローブ植林）	コックスバザール・ホテル泊
15日	午前：モヘシュカリ島ドルガダ村～コックスバザール 午後：研修のまとめ	
16日	午前：市内の環境視察、研修 午後：コックスバザール～ダッカ	
17日	午前：まとめと評価 午後：フリー	ダッカ・ホテル泊
18日	ダッカ～バンコク	トランジット
19日	バンコク～東京・成田	

## 〈共催、協力団体の紹介〉

### マヒドン大学環境・資源管理学部：

バンコク西部サラヤ地区にある王立大学の自然と環境に関する学部。湿地と水環境の調査・研修センターを併設し、メコン川流域の環境系大学の国際ネットワークの要となっている。本研修コーディネーターのサンサニ・チョウ准教授は2008年ラムサール条約国際湿地保全賞受賞者。

### ウエットランド・インターナショナル・タイ(WIT)：

国際NGO「Wetlands International」（本部オランダ）のタイ支部。政府と協力し南部タイのラムサール登録湿地の保全を中心に渡り鳥の保護、マングローブ再生、貧困軽減、環境教育などに取り組んでいる。地球環境基金助成事業「東アジア・オーストラリアフライウェイ『湿地の学校』ネットワーク」のカウンターパート団体。コーディネーターのアセ・サヤカ代表は日本の湿地専門家、NGOと親交が深い。

### Bangladesh・ポーシュ (BDP)：

ダッカに本部をおく環境・開発NGO。1983年設立。国内各地で学校に行けない貧困家庭の子どもへのノンフォーマルスクール運営と南部Bangladesh辺境地域における環境保全と社会開発の両立をめざす活動で知られる。地球環境基金助成「モヘシュカリ島沿岸村落の気候変動災害リスクマネジメント開発モデル事業」を推進中。コーディネーターのサノワ・ホセイン代表（IUCN会員）は国際的な環境活動家。

### ラムサールセンター (RCJ)：

ラムサール条約と湿地の保全・賢明な利用の促進に取り組む、1990年設立のNGO（事務局東京）。アジア湿地シンポジウムの開催を中心にアジア各地で政府、NGOと連携して活動をしている。

